

第 51 回 四 国 大 会

対アークバリア戦 7 回 13 対 1 コールド勝ち

決勝トーナメント進出

四 球	2	2	2	0	4	1	0	11
安 打	0	2	2	3	3	3	1	14
明治安田生命	0	2	3	2	4	2	0	13
	1	2	3	4	5	6	7	合計
アークバリア	0	1	0	0	0	0	0	1
安 打	1	1	1	0	2	2	1	8
四 球	0	0	0	1	0	1	0	2

バッテリー

明治安田生命 ○三宮 4 回・新井 1 回・森井 0・1/3 回・北浜 1・2/3 回一岸本

アークバリア ●志水 1 回・1/3 ・栗山 2 回・河野 0 回 2/3・井上 0 回 1/3
渡邊 0 回 1/3 — 千原

明治安田生命は 2 回 1 四球(橋内)・2 安打(金子・鈴木)・1 犠飛で 2 点先取・2 回裏先頭打者にレフトスタンドへホームラン 1 点返される。3 回表 4 番泉沢四球 5 番岸本死球無死 1・2 塁チャンスに 6 番末広内野安打で無死満塁 7 番羽根のセンター犠飛でと 9 番橋内のレフトヘタイ無理二塁打この回 3 点。4 回 3 番福岡の内野安打。1 死後 5 番岸本レフトスタンドへツーランダメ押しの 7 点目。5 回アークバリア投手陣の制球難で 4 四球 2・2 安打(金子・鈴木)と泉澤の三塁打で 4 点加点、6 回三安打(金子・鈴木・新城)13 点目の 2 点追加点。3 回以降 4 投手の踏ん張りが無失点に抑え 7 回 13 対 1 のコールド勝ち。C ブロック内 2 勝 1 敗(明治安田・JR 九州・ツネイシブルーパイレーツ)3 チーム得失点差で明治安田生命がブロック 1 位で決勝トーナメント進出。

東京都春季支部大会優勝の面目を維持する。

打順

打順	守備	氏名	打数	安打	四球	得点	打点
1	8	鈴木	5	3	0	2	2
2	4	新城	2	1	2	1	2
	4	井村	0	0	0	0	0
3	指名打者	福岡	4	1	1	2	2
4	7	泉澤	2	1	2	1	1
5	2	岸本	4	2	1	1	2
6	9	永廣	3	2	2	2	0
7	3	羽根	4	1	0	0	1
8	6	金子	4	2	1	4	0
9	5	橋内	4	1	1	0	2
合計			32	14	11	13	12

試合の詳細については野球部発信資料参考にしてください。(,ネット一球速報参照)

2023 年 4 月 10 日

土田唯雄

第 51 回 JABA 四国大会

都市対抗野球 18 回・日本選手権 16 回出場の北九州地区古豪
JR 九州を 7 回 8X-1 のコールド勝ち、10 日アークバリア戦を
勝利で飾り決勝トーナメント進出を待つ//

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
JR 九州	0	0	0	1	0	0	0			1
明治安田生命	3	1	0	0	1	0	3X			8

バッテリー

JR 九州 ●足立 1・1/3 回・平野 3・2/3 回・前野 1・2/3 回・吉田 0・0/3 回—塩田

明治安田生命 ○高杉(7 回) —森川

勝因は初回 4 連打 3 点先取と先発高杉投手の熱闘 134 球粘り 1 失点の力投。

先発高杉は初回 3 者凡退好投。明治安田生命は 1 死後 2 番新城四球で出塁 3 番伊藤 4 番森 5 番福岡 6 番永廣の 4 連打、3 点先取点好調の出だし。2 回 2 四球と犠飛で追加点。JR 九州 4 回 2 四球・2 安打で 1 得点する。明治安田は 5 回 3 番伊藤三振振り逃げ出塁後盗塁成功二死後 6 番永廣のセンタータイムリーで 5 点目。

7 回 3 番伊藤の代打泉澤フルカントからレフトスタンドへ代打ホームラン。4 番森レフトオーバーの三塁打 5 番福岡の打球をライト落球で二塁、3 塁ランナー森この回 2 点目のホームイン 6 番永廣の内野ゴロで 2 死。福岡三塁へ 2 死後 8 番森川レフトへタイムリーこの回 3 点 8 対 1 のコールド勝ち。前日の惜敗したツネイシブルーパイレーツ戦の憂さを晴らした。

B ブロックは混戦状態に入り 10 日の明治安田生命対アークバリア戦・JR 九州対ツネイシブルーパイレーツ戦の結果で決勝トーナメント進出が決まる。JR 九州頑張れ//

ツネイシブルーパイレーツ戦に敗れている分若干不利な状態。

打順	守備	氏名	打数	安打	四球	打点
1	DH	鈴木	3	0	0	0
2	セカンド	新城	3	0	1	0
3	センター	伊藤	3	0	1	1
	(代打)	泉澤	1	1	0	1
4	レフト	森	3	2	0	0
5	ファースト	福岡	4	1	0	1
6	ライト	永廣	4	2	0	3
7	ショート	金子	4	0	0	0
8	キャッチャー	森川	4	0	0	0
9	サード	橋内	2	1	1	0
	合計		30	9	3	6

2023 年 4 月 9 日

土田唯雄

第 51 回 JABA 四国大会

初戦対ツネイシブルーパイレーツ 2 対 1 の惜敗

松山市中央公園野球場マドンナスタジアムで C ブロックの第一戦始まった。

明治安田生命は先発竹田投手東京都春季支部大会決勝戦で先発好投した。

この試合もしぶとく粘り 5 回まで 4 安打と抑え得点与えず好投。

ただ 2 ストライク以後各打者にファールで粘られ投球数を 92 球と多投した。

明治安田生命は 4 回裏 2 番新城四球出塁、3 番伊藤がレフトへヒット無死 2・1

塁のチャンス 4 番森が確実に送りバンド成功 1 死 3・2 塁、5 番羽根の内野ゴロで 3

塁ランナー新城先取点のホームイン後続打ち取られる。6 回から石毛投手継投味方

エラーでと与四球とピンチも後続を三振に打ち取る。7 回から小玉投手登板するも

先頭打者に本塁打で同点、8 回先頭打者に 2 塁打次打者バンドを野選とし無死 3・1

塁のピンチ次打者センター犠飛で勝ち越し点を与え 9 回 3 者凡退で 1 敗となる。

7 回無死 2・1 塁のチャンスにバンド失敗後三者凡退で勝越す機会を失ったのが
大きな敗因か?くれぐれも残念だ。

4 月 9 日 JR 九州戦・10 日アークバリア戦連勝で決勝トーナメント進出を願う。

ゲーム詳細は野球部の試合報告を参照願います。(明和会ホームページ)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ツネイシブルーパイレーツ	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
明治安田生命	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

2023 年 4 月 8 日

土田唯雄